

# AQUA PiA 施工説明書

プリニオ洗面ボウル 850 mm/ プリニオフレーム /  
プリニオボトムシェルフ

品番

洗面ボウル:CIE-PNLA85/色品番

フレーム:CIE-PNST85/MB

ボトムシェルフ:CIE-PNPI85L/BA

●本説明書は取付後も廃棄せずご使用者にお渡しください。

## 安全上の注意 (必ずお守りください)

設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。

■施工を誤った場合、使用者に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

**⚠ 注意** この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合または物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

**🚫** この図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

**❗** この図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

## ⚠ 取付けに関する注意

**🚫** 洗面ボウルに強い力や衝撃を与えたり、かたい物を落としたりしないでください。  
陶器が割れて、けがや、漏水による家財への損害の原因となります。

**🚫** 洗面ボウルを取り付けるときは、ねじを強く締めすぎないでください。  
陶器が割れて、けがや、漏水による家財への損害の原因となります。

**❗** 陶器製品は焼成品のため、若干の寸法誤差を生じる場合があります。  
必ず現物合わせにて加工してください。

**🚫** 洗面ボウルに熱湯を注がないでください。  
陶器が割れて、けがや、漏水による家財への損害の原因となります。

**🚫** 洗面ボウルにひびが入った場合は、破損部には触らず、使用をおやめください。  
破損部でけがをする原因、ひびが大きくなり、漏水による家財への損害の原因となります。

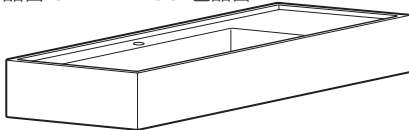
## 取付に必要な部品 (必ずご確認ください)

●洗面ボウルは陶器製です。設置時にフレームとの間に若干の隙間が生じる場合があります。

これは職人のハンドメイドによる微妙な風合いの違いや個体差によるもので、使用上の問題はありませぬ。設置時は上下左右位置の確認と微調整をお願いいたします。

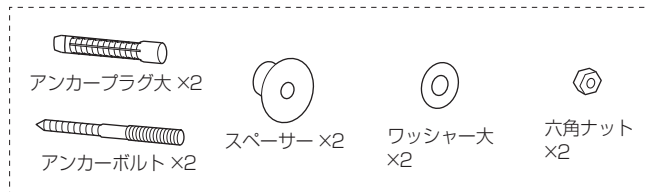
### 洗面ボウル

品番:CIE-PNLA85/色品番



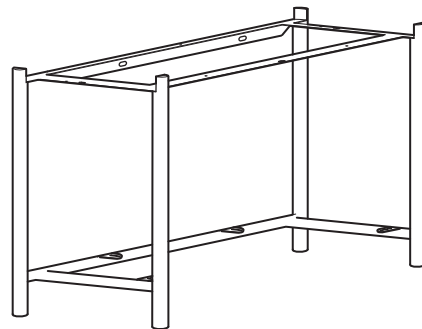
製品寸法 : W850×D460×H155 mm、重量 : 25 kg

材質 : 陶器製



### フレーム

品番:CIE-PNST85/MB



製品寸法 : W900×D480×H710 mm、重量 : 11 kg

材質 : スチール塗装



### ボトムシェルフ

品番:CIE-PNPI85L/BA



製品寸法 : W800×D420×H20 mm、重量 : 4 kg

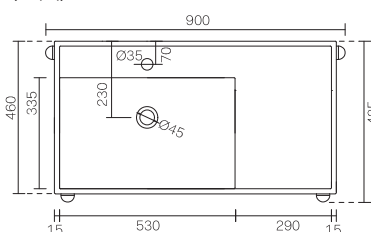
材質 : 木製・ラッカー仕上げ

ボルト ×4

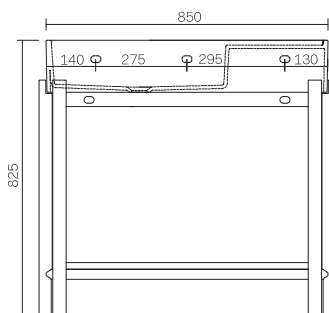
## 製品寸法

●三面図 (洗面ボウル、ボトムシェルフ、フレームを組み合わせる場合)

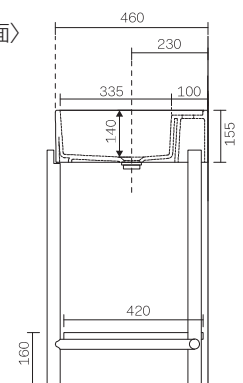
〈上面〉



〈正面〉



〈側面〉

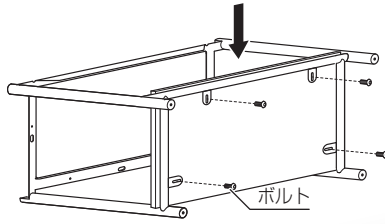


## 取付手順

### ■洗面ボウル・ボトムシェルフ・フレームを使用して設置する場合

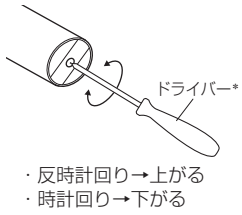
#### 1 フレームにボトムシェルフを取り付ける。

- ①フレームを横に寝かせます。  
(前面側が下)
- ②ボトムシェルフを、図のように上から差し込みます。
- ③ボトムシェルフをボルトで固定します。(4か所)
- ④フレームを起こします。

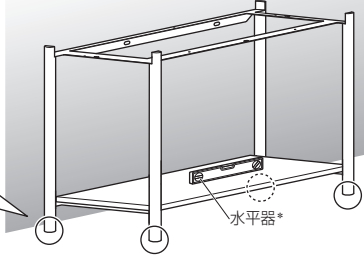


#### 2 フレームのレベル調整を行う。

脚底面中央の金具(4か所)で、脚の高さを調整できます。



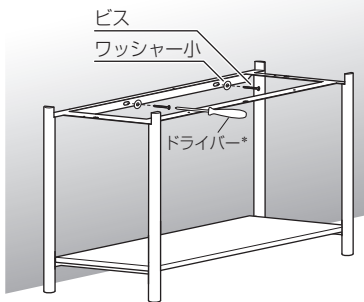
- ・反時計回り→上がる
- ・時計回り→下がる



#### 3 フレームを壁に仮固定する。

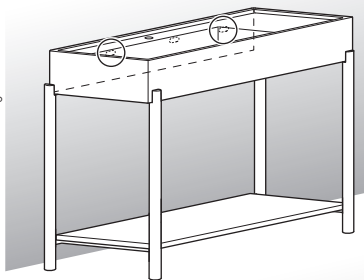
- ①ワッシャー小とビスで仮固定(仮締め)します。(2か所)
- ※ボウルを載せる際に微調整できるように、ビスは固く締めないようにしてください。

〈コンクリート下地壁の場合〉  
フレームを固定する壁にあらかじめ下穴をあけ、アンカープラグ小を打ち込んでからワッシャー小とビスで仮固定してください。



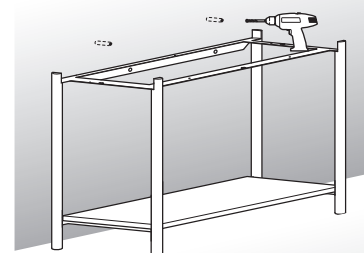
#### 4 洗面ボウルを壁に固定するための下穴の位置を決める。

- ①洗面ボウルをフレームに仮置きし、洗面ボウル背面の穴に合わせて、壁にあける下穴の位置を決めます。(左右2か所)
- ②下穴をあける位置に印をつけます。
- ③穴の位置が決まったら、洗面ボウルを取り外します。



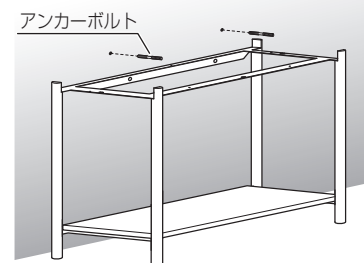
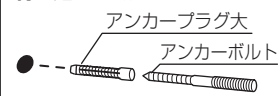
#### 5 壁に下穴をあけ、アンカーボルトを取り付ける。

- ①手順4で決めた位置に、下穴をあけます。



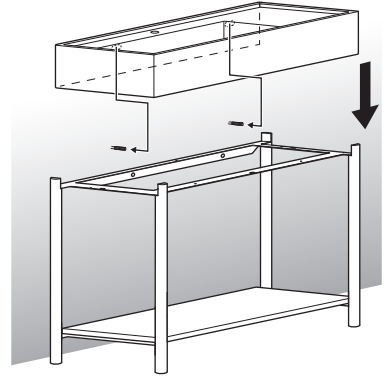
- ②下穴に、アンカーボルトを打ち込みます。

〈コンクリート下地壁の場合〉  
アンカープラグ大を打ち込んでから、アンカーボルトを打ち込んでください。



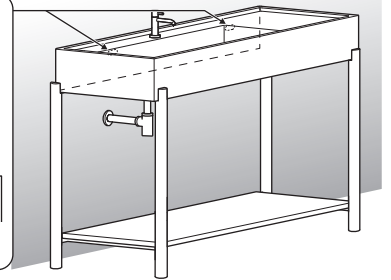
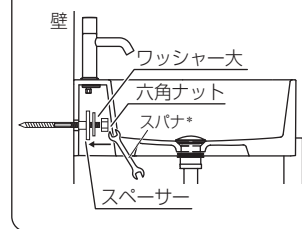
#### 6 洗面ボウルを設置する。

- ①洗面ボウル背面の穴に、手順5で取り付けられたアンカーボルトを差し込みながら、洗面ボウルをフレームの上に置きます。



- ②スペーサー・ワッシャー大・六角ナットの順に取り付け、アンカーボルトに仮固定(仮締め)します。(左右2か所)
- ※この後の手順で洗面ボウルのレベル調整をするので、固く締めないようにしてください。

〈横から見た図〉

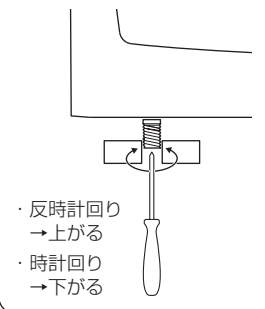


- ※スペーサーの凸部を、洗面ボウルの穴にしっかりとめ込んでください。

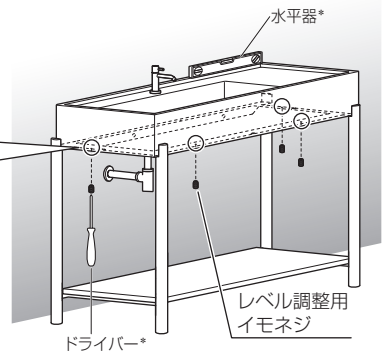
#### 7 洗面ボウルのレベル調整を行う。

- ①レベル調整用イモネジを取り付け、洗面ボウルのレベル調整を行います。(4か所：手前2か所、左右2か所)

レベル調整用イモネジでボウルの高さを調整できます。

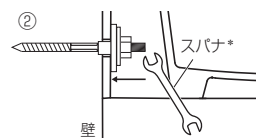


- ・反時計回り → 上がる
- ・時計回り → 下がる



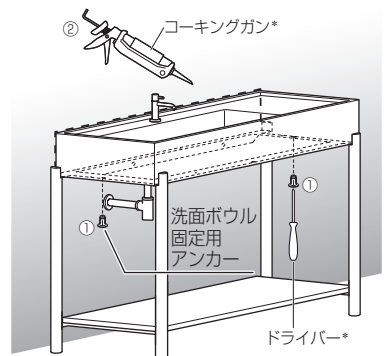
#### 8 洗面ボウルを壁に固定する。(本締め)

- ①手順3-①で仮締めしたフレーム固定ビスをしっかり締め付けます。
- ②手順6-②で仮締めした六角ナットを、しっかり締め付けます。



#### 9 フレームと洗面ボウルを洗面ボウル固定用アンカーで止め、コーキング処理を行う。

- ①底面から洗面ボウル固定用アンカーをしっかりはめ込んでから、締め付けます。(左右2か所)
- ②洗面ボウルと壁面の間をコーキング処理します。



\*工具類、水平器、コーキングガンは同梱しておりません。